

学 会 録 事

1. 選挙結果について

2001年1月1日から2002年12月31日を任期とする次期会長・評議員の選挙が8月25日から9月24日の期間行われた。10月3日に、本会の坂牛真司氏、守屋真由美氏の立ち会いのもと筑波大学生物農林棟B510室において開票が行われた。結果は以下のとおりである。

【会長選挙】

原慶明（当選）；井上勲（次点）

【評議員選挙】

北海道地区（2）堀口健雄（当選）・本村泰三（当選）；増田道夫（次点）

東北地区（2）横浜康継（当選）・斉藤宗勝（当選）；小河久朗（次点）

関東地区（3）堀輝三（当選）・渡辺信（当選）・出井雅彦（当選）；笠井文絵（次点）

東京地区（2）田中次郎（当選）・南雲保（当選）；片山舒康（次点）

中部地区（3）天野秀臣（当選）・御園生拓（当選）・藤田大介（当選）；渡辺信（次点）

近畿地区（2）川井浩史（当選）・鯉坂哲朗（当選）；今井一郎（次点）

中国・四国地区（2）大野正夫（当選）・寺脇利信（当選）；奥田一雄（次点）

九州地区（2）飯間雅文（当選）・野呂忠秀（当選）；四井敏雄（次点）

会 員 移 動

編集後記

本年の最後、また今世紀最後の号をお届けすることができてほっとしております。今回は山田幸男先生のご生誕100周年ということで、諸先生方にご無理を願って原稿をお書きいただき、編集作業を楽しく進めることができました。なお著者の方々には編集に際してのご無礼不行き届きの段、この場をお借りしてお詫び申し上げます。この特集記事の中で瀬川宗吉博士の話題がありますが、博士の長年のフィールドである伊豆諸島のうち三宅島、新島、神津島などは地震のために大きな被害を被っています。この地域は東京水産大学藻類学教室の研究の重要な拠点でもあり、一日も早く地震が沈静化することを祈るばかりです。この地域で特産とされるニクホウノオの生きた材料を表紙の写真としました。(J.T.)

48巻3号を無事完成できほっとしております。本号には春の大会案内を掲載することで準備する文面が多く、少なからず緊張しました。次号の発行は21世紀、心機一転頑張りたいと思います。(T.N.)

表紙の写真説明

Platoma izunosimensis Segawa ニクホウノオ

平成12年5月5日、伊豆諸島式根島（東京都）産、東京水産大学小林敦氏採集（東京水産大学ハーバリウム所蔵、標本番号 MTUF-AL-20087）

本種は瀬川宗吉博士が昭和13年に新種として発表した紅藻類スギノリ目ベニスナゴ科の藻類である（Segawa, S. 1938. On the marine algae of Susaki, Prov. Izu, and its vicinity III. Sci. Pap. Inst. Algol. Res. Fac. Sci. Hokkaido Imp. Univ. vol. 2, no. 1, p.143, pl.35, fig. 5.）。これまで神津島、三宅島で採集されている。

